

学生の体力・スポーツに関する意識調査

阿部 謙之 賀来 翼 阿部 淳

A Research On College Students' Attitudes Toward Physical Strength And Sports

Kenji ABE Susumu KAKU Jun ABE

I 調査の目的

我が国は今、大きな変革の中にある。これまで築いてきた様々な社会制度が時代のニーズに合わなくなり、改革が求められている。スポーツも例外ではない。学校運動部、企業スポーツに支えられて発展してきたスポーツが、少子化や昨今の経済情勢の変化により休部や廃部に追い込まれている。一方、大学生のスポーツに関する意識も変化しており、従来のスポーツ競技にこだわらず、より身近な自分たちのレベルで仲間とスポーツを楽しむという状況が生まれている。また、スポーツを「する」だけでなく「見る」あるいはボランティアとして大会を「支える」といった志向も生まれ、関わり方も多様化している。

こうした中で本調査では、総理府広報室(2000年10月調査)¹⁾の「体力・スポーツに関する世論調査」を参考にし、別府大学及び別府大学短期大学部の学生における「健康・体力及び運動・スポーツに関する意識」について調査を行い、本学で行った前回のデータ²⁾などと比較、検討を加え、今後の体育実技展開の基礎資料とすることを目的とした。

II 調査の概要

1 健康・体力に関する意識について

- (1)現在の健康状態
- (2)体力の自信の有無
- (3)健康・体力について普段どのように感じ

るか

- ①肉体的な疲労
- ②精神的な疲労、ストレス
- ③運動不足
- ④肥満

(4)健康・体力への留意点

- ①健康や体力に注意をはらっているか
- ②健康や体力の維持増進のために心掛けていること

2 運動・スポーツの実施状況と今後の意向について

(1)運動スポーツの1年間の実施状況

- ①教科以外でこの1年間に行った運動・スポーツの種目
- ②教科以外でこの1年間に行った運動・スポーツの日数
- ③運動・スポーツを行った理由
- ④運動・スポーツを行わなかった理由

(2)今後行ってみたい運動・スポーツ

- ①今後行ってみたい運動・スポーツの種目

3 スポーツの視聴、観戦について

- (1)スポーツの視聴、観戦の有無
- (2)関心のあるスポーツ種目

4 スポーツに関するボランティア活動について

- (1)スポーツに関するボランティア活動の経験の有無

- ①どのようなボランティア活動か
- (2)今後のボランティア活動への意向
- ①どのようなボランティア活動か

5 地域社会におけるスポーツに関する意識に

ついて

(1)学校の体育施設の利用状況

①学校体育施設を利用しなかった理由

6 スポーツ行事やスポーツ教室への参加状況と今後の参加意向

(1)スポーツ行事やスポーツ教室への参加状況

(2)参加したいスポーツ行事

7 クラブ・同好会への加入状況と今後の加入意向について

(1)クラブ・同好会への加入状況

①クラブ・同好会でやっているスポーツの種目

②クラブ・同好会に加入した動機

③クラブ・同好会への加入意向

8 スポーツの国際大会に関する意識について

(1)国際大会での日本人選手の活躍に対する関心

(2)国際大会で日本人選手が活躍するための公的援助の必要性

(3)国際大会を我が国で開催することについて

9 スポーツ施設とスポーツ振興についての要望

(1)公共スポーツ施設についての要望

(2)スポーツ振興についての国や地方公共団体への要望

Ⅲ 調査対象

2000年度の1年次後期の体育実技Ⅱを受講した別府大学の学生253名と別府大学短期大学部の学生で保健体育及び体育実技を受講した113名とした。平均年齢は男子19.0歳、女子19.4歳であった。調査対象者の内訳を表1に示した。

表1 調査対象

項目	男子(人)	女子(人)	全体(人)
大 学	147	106	253
短期大学部	5	108	113
合 計	152	214	366
割 合	41.5%	58.5%	100.0%

Ⅳ 調査時期

2000年12月18日～2001年1月18日

Ⅴ 調査方法

授業時間に、授業担当教員が質問紙法によるアンケート調査を実施した。

調査結果の概要

1 健康・体力に関する意識について

(1)現在の健康状態

このところ健康だと思うかの質問に、「健康である」と答えた者の割合が85.0% (大いに健康である24.9%、まあ健康である60.1%)、「あまり健康でない」と答えた者の割合が14.7%となっている。

1999年度の調査結果^{注2}(以下、前回の調査結果とする)と比較してみると、「健康である」と答えた者の割合が79.4%→85.0%、「あまり健康でない」と答えた者の割合が9.4%→15.0%と、それぞれ高くなっている。前回の調査結果で「わからない」が11.2%であった。(表2-1)

表2-1 現在の健康状態

状 態	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに健康である	26.3	23.8	24.9
まあ健康である	61.2	59.4	60.1
あまり健康でない	12.5	16.8	15.0
該 当 者 数 (人)	152	214	366

(2)体力の自信の有無

自分の体力についてどのように感じているかの質問に、「体力に自信がある」と答えた者の割合が14.5%、「体力は普通である」と答えた者の割合が60.9%、「体力に不安がある」と答えた者の割合が24.6%となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「体力は普通である」と回答した者の割合が52.2%→60.9%と高くなっている。(表2-2)

表2-2 体力の自信の有無

自信の有無	男子(%)	女子(%)	全体(%)
体力に自信がある	16.5	13.1	14.5
体力は普通である	65.1	57.9	60.9
体力に不安がある	18.4	29.0	24.6
該当者数(人)	152	214	366

(3)健康・体力について普段どのように感じるか

①肉体的な疲労

普段肉体的な疲労を感じるかの質問に「感じる」と答えた者の割合が72.9% (大いに感じる13.9%、ある程度感じる59.0%)、「感じない」と答えた者の割合が25.7% (あまり感じない22.7%、ほとんど全く感じない3.0%)、「わからない」が1.4%となっている。

前回の調査結果と比較してみると「感じない」と答えた者の割合が26.7→25.7%と差異は見られないのに対し「感じる」と答えた者が10%増えている。(表2-3)

表2-3 肉体的な疲労について

感じる程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに感じる	10.5	16.4	13.9
ある程度感じる	57.9	59.8	59.0
あまり感じない	25.0	21.0	22.7
ほとんど(全く)感じない	5.3	1.4	3.0
わからない	1.3	1.4	1.4
該当者数(人)	152	214	366

②精神的な疲労、ストレス

普段精神的な疲労、ストレスを感じるかの質問に「感じる」と答えた者の割合が73.0% (大いに感じる26.0%、ある程度感じる47.0%)、「感じない」と答えた者の割合が25.9% (あまり感じない16.6%、ほとんど全く感じない9.3%)「わからない」が1.1%となっている。

前回の調査結果と比較してみると「感じる」と答えた者の割合が上昇(64.

7%→73.0%)している。性別に見ると、「感じる」と答えた者の割合は、女性で高くなっている。(表2-4)

表2-4 精神的な疲労・ストレスについて

感じる程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに感じる	23.7	27.6	26.0
ある程度感じる	42.1	50.5	47.0
あまり感じない	19.7	14.5	16.6
ほとんど(全く)感じない	13.2	6.5	9.3
わからない	1.3	0.9	1.1
該当者数(人)	152	214	366

③運動不足

普段運動不足を感じるかの質問に、「感じる」と答えた者の割合が80.4% (大いに感じる47.0%、ある程度感じる33.4%)、「感じない」と答えた者の割合が19.1% (あまり感じない10.6%、ほとんど全く感じない8.5%)となっている。

前回の調査結果と比較してみると「感じない」と答えた者の割合が上昇(13.5%→19.1%)し、「感じる」と答えた者の割合が低下(83.9%→80.1%)している。(表2-5)

表2-5 運動不足について

感じる程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに感じる	36.8	54.2	47.0
ある程度感じる	34.2	32.7	33.4
あまり感じない	14.5	7.9	10.6
ほとんど(全く)感じない	14.5	4.2	8.5
わからない	0.0	0.9	0.5
該当者数(人)	152	214	366

④肥満

普段肥満を感じるかの質問に「感じる」と答えた者の割合が57.2% (大いに感じる20.5%、ある程度感じる36.7%)、「感じない」と答えた者の割合が40.4% (あまり感じない22.7%、ほとんど全く感じない17.7%)、「わからない」が2.4%となっている。この項目

は前回の調査項目にない。(表2-6)

表2-6 肥満について

感じる程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに感じる	11.2	27.1	20.5
ある程度感じる	34.9	37.9	36.7
あまり感じない	23.0	22.4	22.7
ほとんど(全く)感じない	28.9	9.8	17.7
わからない	2.0	2.8	2.4
該当者数(人)	152	214	366

(4)健康・体力への留意点

①健康や体力に注意をはらっているか

自分の健康や体力についてどの程度注意をはらっているかの質問に「注意をはらっている」と答えた者の割合が68.5% (常に注意をはらっている11.5%、時々注意をはらっている57.0%)、「あまり注意をはらっていない」が31.5%となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「注意をはらっている」と答えた者の割合が上昇(62.8%→68.5%)し「注意をはらっていない」と答えた者の割合が低下(37.2%→31.5%)している。

(表2-7)

表2-7 健康や体力に注意をはらっているか

注意の程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
常に注意をはらっている	17.8	7.0	11.5
時々注意をはらっている	53.9	59.3	57.0
あまり注意をはらっていない	28.3	33.6	31.5
該当者数(人)	152	214	366

②健康や体力の維持増進のために心掛けていること

日頃自分の健康や体力の維持増進のために何か心掛けていることがあるかの質問で、「睡眠や休養をよくとる」44.0%、「運動やスポーツをする」29.2%、「食生活に気をつける」28.1%、「規則正しい生活をする」20.2%の順となっている。(表2-8)

表2-8 健康や体力の維持増進のために心掛けていること(複数回答)

心掛けていること	男子(%)	女子(%)	全体(%)
①食生活に気をつける	21.7	32.7	28.1
②睡眠や休養をよくとる	39.5	47.2	44.0
③運動やスポーツをする	43.4	20.1	29.2
④規則正しい生活をする	17.1	22.4	20.2
⑤酒やタバコを控える	20.4	15.9	17.8
⑥その他	1.3	4.7	3.3
⑦心掛けていることはない	19.7	19.2	19.4
⑧わからない	4.6	4.2	4.4
該当者数(人)	152	214	366

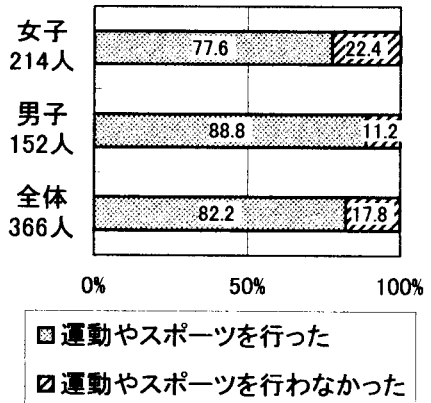
2 運動・スポーツの実施状況と今後の意向について

(1)運動・スポーツの1年間の実施状況

この1年間に行った運動やスポーツがあるかの質問に、「運動やスポーツを行った」と答えた者の割合が82.2%、「運動やスポーツはしなかった」と答えた者の割合が17.8%となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「運動やスポーツを行った」とする者の割合が上昇(60.5%→82.2%)し「運動やスポーツをしなかった」と答えた者の割合が低下(32.2%→17.8%)している。(図1)

図1 この1年間に行った運動・スポーツの有無



①この1年間に行った運動・スポーツの種目

この1年間に行った運動やスポーツを性別に見ると男子ではサッカー、野球、バレーボール、ボウリング、バドミントンなどが、女子ではボウリング、ウォーキング、バドミントン、バレーボール、水泳などが上位に挙げられている。

前回の調査結果と比較してみると、女性でウォーキング (12.0%→36.1%)、ボウリング (29.3%→38.6%)、バレーボール (27.7%→32.5%) などがそれぞれ高くなっている。(表3-1)

表3-1 この1年間に行った運動・スポーツの種目(複数回答)

男子 (%)		女子 (%)	
サッカー	34.1	ボウリング	38.6
野球	24.3	ウォーキング	36.1
バレーボール	19.1	バドミントン	34.3
ボウリング	19.1	バレーボール	32.5
バドミントン	17.8	水 泳	22.3
ウォーキング	13.3	海 水 浴	18.7
バスケットボール	12.6	体 操	13.9
ソフトボール	11.9	卓 球	13.3
卓 球	11.9	バスケットボール	10.8
水 泳	11.1	ドッジボール	9.6
該当者数(人)	135		166

②この1年間に行った運動・スポーツの日数

この1年間に運動やスポーツを行ったと答えた者(301人)に、その運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになるかの質問に、「月に1~3日(年に12~50H)」と答えた者の割合が27.2%と最も高く、以下「週に1~2日(年に51~150H)」25.9%、「週に3日以上(年に151日以上)」22.3%の順となっている。(表3-2)

表3-2 1年間に運動やスポーツを行った日数

日 数	男子 (%)	女子 (%)	全体 (%)
年に151日以上(週3日以上)	34.1	12.7	22.3
年に51~150日(週1~2日)	28.1	24.1	25.9
年に12~50日(月1~3日)	25.9	28.3	27.2
年に4~11日(3ヶ月に1~2日)	8.9	26.5	18.6
年に1~3日	3.0	8.4	6.0
該当者数(人)	135	166	301

③運動・スポーツを行った理由

この1年間に運動やスポーツを行ったと答えた者(301人)に運動やスポーツを行った理由を質問したところ、「楽しみ、気晴らしとして」を挙げた者の割合が65.8%、「友人、仲間との交流として」を挙げた者の割合が58.8%と高く、以下「運動不足を感じるから」(26.6%)、「健康・体力づくりのため」(23.3%)、「自己の記録や能力を向上させるため」16.6%などの順になっている。

前回の調査結果と比較してみると、「楽しみ、気晴らしとして」(44.8%→65.8%)、「友人、仲間との交流として」(41.0%→58.8%)がそれぞれ高くなっている。(表3-3)

表3-3 運動・スポーツを行った理由(複数回答)

項 目	男子 (%)	女子 (%)	全体 (%)
自分の記録や能力を向上させるため	28.2	7.2	16.6
楽しみ、気晴らしとして	65.2	66.3	65.8
友人・仲間との交流として	46.7	68.7	58.8
精神の修業や訓練のため	14.8	6.0	10.0
運動不足を感じるから	23.0	29.5	26.6
健康・体力づくりのため	31.1	16.9	23.3
家族とのふれあいとして	0.7	5.4	3.3
美容や肥満解消のため	3.7	18.7	12.0
その他	5.9	6.0	6.0
該当者数(人)	135	166	301

④運動・スポーツを行わなかった理由

この1年間に「運動やスポーツをしなかった」と答えた者(65人)に、運動やスポーツをしなかった理由を聞いたところ「機会がなかった」を挙げた者の割合が64.6%と最も高く、以下「運動・スポーツが好きではないから」20.0%、「学業やアルバイトが忙しくて時間がないから」17.0%などの順となっている。前回の調査結果と比較してみると、「機会がなかった」が21.4%→64.6%と大きな変化が見られる。(表3-4)

表3-4 運動・スポーツを行わなかった理由 (複数回答)

理由	男子(%)	女子(%)	全体(%)
運動やスポーツは好きでないから	0.0	27.1	20.0
機会がなかったから	70.6	62.5	64.6
仲間がないから	11.8	6.3	7.7
場所や施設がないから	5.9	6.3	6.2
お金がかかるから	5.9	8.3	7.7
学業やアルバイトが忙しくて時間がないから	17.7	16.7	17.0
体が弱いから	0.0	4.2	3.1
指導者がいないから	0.0	2.1	1.5
その他	0.0	0.0	1.5
特に理由はない	23.5	8.3	12.3
該当者数(人)	17	48	65

(2)今後行ってみたい運動・スポーツの種目

①今後行ってみたい運動・スポーツの種目

現在行っているものを含めて、今後行ってみたい運動やスポーツの種目を調べたところ、男子でサッカー、野球、バスケットボール(17.1%)、スキー(13.8%)、テニス(11.2%)、ボウリング(5.9%)、ソフトボール(5.3%)などの順になっている。女子では、スキー(19.6%)、バドミントン(16.8%)、スケート(15.9%)、テニス、水泳(14.5%)、バレーボール(13.6%)、バスケットボール(12.1%)などが挙げられている。(表3-5)

表3-5 今後行ってみたい運動・スポーツの種目(複数回答)

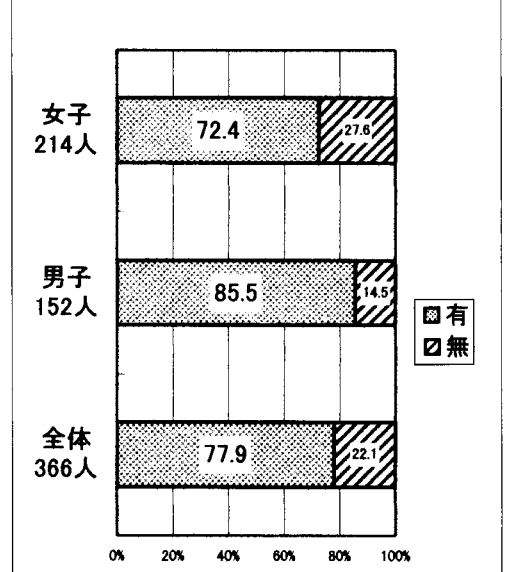
上位10種目			
男子(%)		女子(%)	
サッカー	17.1	スキー	19.6
野球	17.1	バドミントン	16.8
バスケットボール	17.1	スケート	15.9
スキー	13.8	テニス	14.5
テニス	11.2	水泳	14.5
ボウリング	5.9	バレーボール	13.6
ソフトボール	5.3	バスケットボール	12.1
柔道	5.3	スキューバダイビング	11.2
剣道	5.3	ボウリング	10.7
スキューバダイビング	4.6	スノーボード	6.5
該当者数(人)	152		214

3 スポーツの視聴、観戦について

(1)スポーツの視聴観戦の有無

スポーツを観戦したり、テレビで見たりラジオで聴いたりすることがあるかとの質問に、「スポーツを見たり聴いたりすることがある」と答えた者の割合が77.9%、「スポーツを見たり聴いたりすることはほとんどない」と答えた者の割合が22.1%となっている。(図2)

図2 スポーツの視聴・観戦の有無



(2)関心のあるスポーツ種目

見たり聴いたりするスポーツの内容を見ると、「プロ野球」を挙げた者の割合が56.9%と最も高く、以下、「サッカー」(48.5%)、「高校野球」(27.7%)などの順になっている。

性別を見ると、「スポーツを見たり聴いたりすることがある」と答えた者の割合は、男性で高くなっている。(表4-1)

表4-1 関心のあるスポーツ種目(複数回答) 上位10種目

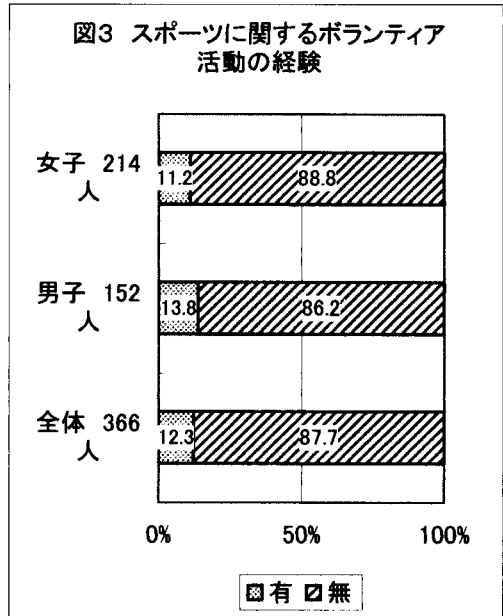
	男子 (%)	女子 (%)
プロ野球	56.9	バレーボール 42.6
サッカー	48.5	高校野球 40.0
高校野球	27.7	サッカー 22.6
ボクシング	10.0	プロ野球 19.4
プロレス	10.0	バスケットボール 12.9
バスケットボール	9.2	駅伝 11.6
大相撲	5.4	柔道 8.4
柔道	4.6	マラソン 6.5
陸上競技	4.6	ボクシング 5.8
バレーボール	4.6	水泳 4.5

4 スポーツに関するボランティア活動について

(1)スポーツに関するボランティア活動の経験の有無

この1年間ぐらいの間に、スポーツの指導やイベントへの協力など、スポーツに関するボランティア活動を行ったかどうかを聴いたところ、「行った」と答えた者の割合が12.3%、「しなかった」と答えた者の割合が87.7%となっている。この項目は前回の調査項目にない。

2000年度の総理府調査結果では20歳代で「行ったことがある」と答えた者の割合が6.7%、「行ったことがない」と答えた者の割合が93.3%となっている。(図3)



①どのようなボランティア活動か

スポーツに関するボランティア活動を行ったと答えた者(45人)にそれはどのようなボランティア活動だったかと質問したところ、「全国的なスポーツイベントのボランティア活動」と答えた者の割合が42.2%、「スポーツの指導者」と答えた者の割合が37.8%、「地域のスポーツ行事などの運営や世話」と答えた者の割合が17.8%となっている。(図4)

(2)今後のボランティア活動への意向

今後、スポーツに関するボランティア活動を行いたいかどうか質問したところ、「行いたい」と答えた者の割合が55.5% (ぜひ行いたい8.5%、できれば行いたい47.0%)、「行いたいとは思わない」と答えた者の割合が44.5% (あまり行いたいとは思わない36.1%、全然行いたいとは思わない8.4%)となっている。

「行いたい」と答えた者の割合は、総理府の調査結果(23.3%)と比較すると、非常に高い。(表5-1)

図4 どのようなボランティア活動か(複数回答)

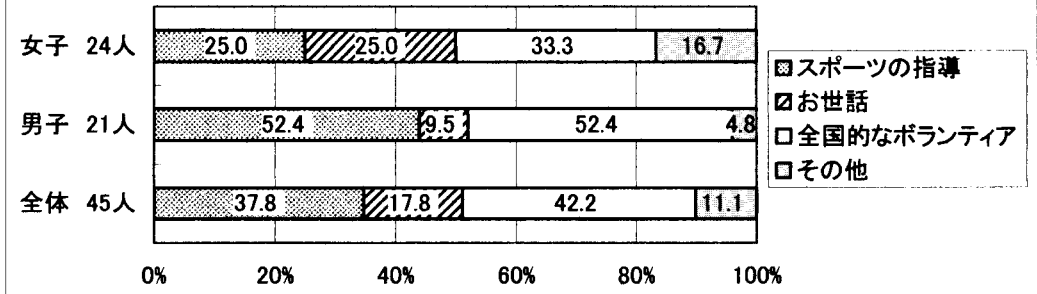


図5 学校体育施設の利用状況

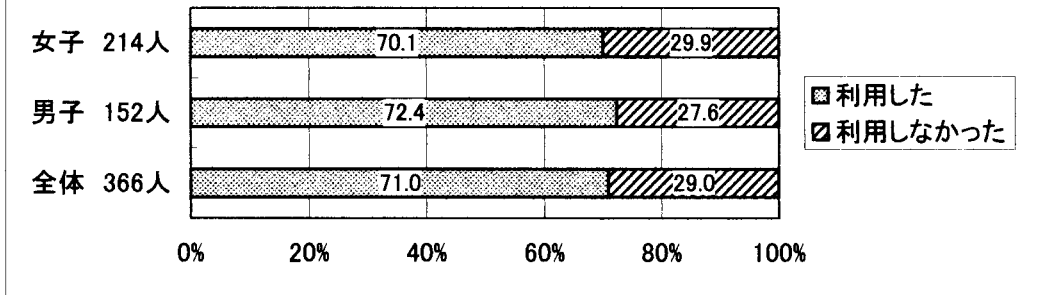


表5-1 今後ボランティア活動を行いたい

項目	男子(%)	女子(%)	全体(%)
ぜひ行いたい	11.8	6.1	8.5
できれば行いたい	50.7	44.4	47.0
あまり行いたくない	26.3	43.0	36.1
全然行いたくない	11.2	6.5	8.4
該当者数(人)	152	214	366

と、大きな差異は見られない。この項目は前回の調査項目にはない。(図5)

①学校の体育施設を利用しなかった理由

学校の体育施設を利用しなかったと答えた者(106人)に、利用しなかった理由があればそれはどのようなことか聞いたところ、「時間帯が限られており、利用したい時にできないから」を挙げた者の割合が21.7%、「個人単位では、利用が許可にならないから」を挙げた者の割合が15.1%、「運動やスポーツに関心がないから」が13.2%となっている。なお、「特になし」を挙げた者の割合が25.5%となっている。(表6-1)

5 地域社会におけるスポーツに関する意識について

(1)学校の体育施設の利用状況

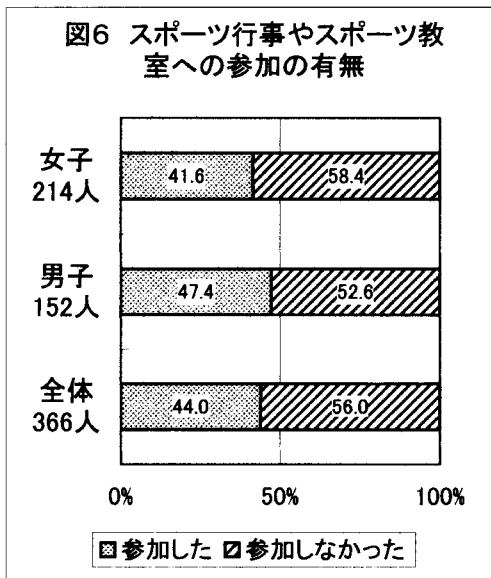
この1年間に、小学校、中学校、高校、大学などの学校の運動場、体育館、プールなどの体育施設を、運動やスポーツのために利用したことがあるか質問したところ、「利用した」と答えた者の割合が29.0%「利用しなかった」と答えた者の割合が71.0%となっている。性別に見る

表6-1 学校体育施設を利用しなかった理由
(複数回答)

項目	男子(%)	女子(%)	全体(%)
運動やスポーツに関心がないから	7.1	17.2	13.2
時間帯が限られており、利用したいときにできないから	16.7	25.0	21.7
知らなかった	9.5	14.1	12.3
個人単位では、利用が許可にならないから	11.9	17.2	15.1
手続きが面倒	2.4	17.2	11.3
開放されていない	0.0	0.0	0.0
設備不良	9.5	6.3	10.4
その他	14.3	4.7	8.5
特にない	28.6	23.4	25.5
該当者数(人)	64	42	106

6 スポーツ行事やスポーツ教室への参加状況と今後の参加意向について

- (1) スポーツ行事やスポーツ教室への参加状況
この1年ぐらいの間に、スポーツ行事やスポーツ教室に参加したかの質問に、「参加した」と答えた者の割合が44.0%、「参加しなかった」と答えた者の割合が56.0%となっている。この項目は前回の調査項目にはない。(図6)



(2) 参加したいスポーツ行事

今後、地域や大学でスポーツ行事が催される場合どのような行事に参加したいと思うかの質問に「競技会的な行事(スポーツ大会など)」を挙げた者の割合が38.0%、「レクリエーション的行事(運動会など)」を挙げた者の割合が35.8%で、それぞれ高い。性別に見ると、男子では競技会的な行事、女子ではレクリエーション的行事で、それぞれ高くなっている。(表7-1)

表7-1 参加したいスポーツ行事
(複数回答)

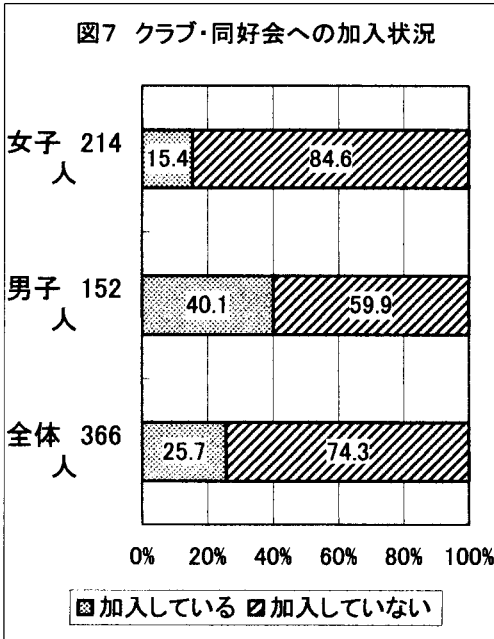
行事	男子(%)	女子(%)	全体(%)
レクリエーション的行事(運動会など)	27.6	41.6	35.8
トレーニング的行事(ジョギング大会など)	15.8	7.9	11.2
体力テスト・スポーツテスト	15.8	7.5	10.9
スポーツ教室	9.9	15.0	12.8
競技会的行事(スポーツ大会)	44.7	33.2	38.0
その他	3.3	3.3	3.3
参加したいとは思わない	15.8	17.8	16.9
該当者数(人)	152	214	366

7 クラブ、同好会への加入状況と今後の加入意向について

(1) クラブ・同好会への加入状況

運動やスポーツのクラブや同好会に加入しているかの質問に、「加入している」と答えた者の割合が25.7%、「加入していない」と答えた者の割合が74.3%となっている。

前回の調査結果と比較してみると、男子で「加入している」と答えた者の割合が高くなっている(25.5%→40.1%)。(図7)



① クラブ・同好会でやっている運動・スポーツの種目

運動やスポーツのクラブや同好会に「加入している」と答えた者(94人)に、そのクラブや同好会でやっている運動・スポーツを聞いたところ男子では野球、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、柔道、剣道が、女性では、バドミントン、バレーボール、剣道、柔道、登山、ダンスなどがそれぞれ上位に挙げられている。(表8-1)

② クラブ・同好会に加入した動機

運動やスポーツのクラブや同好会に「加入している」と答えた者(94人)に、そのクラブや同好会に加入した動機について質問したところ、「好きだから」を挙げた者の割合が72.3%、「親睦のため(仲間ができるため)」を挙げた者の割合が36.2%、「健康・体力づくりのため」を挙げた者の割合が34.0%と高く、以下、「技術が習得できるから」「継続してできるから」などの順になっている。(表8-2)

表8-1 クラブや同好会でやっている運動やスポーツの種目(上位10種目)

	男子 (%)	女子 (%)
野 球	21.3	バドミントン 21.2
サ ッ カ ー	13.1	バレーボール 18.2
バスケットボール	9.8	柔 道 15.1
バドミントン	8.2	剣 道 15.1
卓 球	8.2	登 山 9.1
柔 道	6.6	ダ ン ス 6.1
剣 道	4.9	合 気 道 3.0
合 気 道	4.9	ワンダーフォーゲル 3.0
少 林 寺 拳 法	4.9	弓 道 3.0
テ ニ ス	4.9	卓 球 3.0
該当者数(人)	61	33

表8-2 クラブ・同好会に加入した動機(複数回答)

動 機	男子 (%)	女子 (%)	全体 (%)
好 き だ か ら	39.7	60.6	72.3
親睦のため(仲間ができるから)	15.7	45.5	36.2
指導者がいるから	3.3	6.1	6.4
健康・体力づくりのため	16.5	36.4	34.0
場所が優先的に利用できるから	0.0	0.0	0.0
継続してできるから	7.5	15.2	14.9
技術を習得できるから	9.9	27.3	22.3
施設・用具などが完備されているから	0.8	0.0	1.1
そ の 他	5.8	18.2	13.8
特 に な い	0.8	3.0	2.1
該当者数(人)	61	33	94

③ クラブ・同好会への加入意向

運動やスポーツのクラブや同好会に「加入していない」と答えた者(272人)に、自分の好きな運動やスポーツのクラブ・同好会があれば、加入したいと思うか質問したところ、「加入したいと思う」と答えた者の割合が48.2%、「加入したいとは思わない」と答えた者の割合が23.9%となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「加入したいと思う」と答えた者の割合が男子(36.0%→49.4%)、女子(33.0%→47.5%)と共に上昇している。(表8-3)

表8-3 クラブ・同好会への加入意向

項 目	男子(%)	女子(%)	全体(%)
加入したいと思う	49.4	47.5	48.2
加入したいとは思わない	22.0	24.9	23.9
わからない	28.6	27.6	27.9
該当者数(人)	91	181	272

8 スポーツの国際大会に関する意識について

(1) 国際大会での日本人選手の活躍に対する関心

オリンピック競技大会やサッカー、バレーボールなどのスポーツの国際大会での日本選手の活躍にどのくらい関心があるか質問したところ、「関心がある」と答えた者の割合が84.2% (非常に関心がある37.2%、やや関心がある47.0%)「関心がない」と答えた者の割合が15.8% (あまり関心がない10.4%、ほとんど関心がない5.5%) となっている。この項目は前回の調査項目にはない。(表9-1)

表9-1 国際大会での日本選手の活躍に対する関心

項 目	男子(%)	女子(%)	全体(%)
非常に関心がある	50.6	27.6	37.2
やや関心がある	36.2	54.7	47.0
あまり関心がない	7.9	12.1	10.4
ほとんど(全く)関心がない	5.3	5.6	5.5
該当者数(人)	152	214	366

(2) 国際大会で日本人選手が活躍するための公的援助の必要性

日本人選手がオリンピック競技大会などで活躍するためには、どのような公的援助が必要だと思うかという質問に、「コーチ、トレーナーなど指導者の養成を図る」を挙げた者の割合が47.5%、「選手のトレーニングや海外遠征などに経済的な援助を行う」を挙げた

者の割合が45.1%、「国などが設備の充実したトレーニング施設を作る」を挙げた者の割合が40.7%となっている。この項目は前回の調査項目にはない。(表9-2)

表9-2 国際大会の日本選手が活躍するための公的援助の必要性(複数回答)

項 目	男子(%)	女子(%)	全体(%)
選手のトレーニングや海外遠征などに経済的援助を行う	54.6	38.3	45.1
コーチ、トレーナーなど指導者の養成を図る	43.4	50.5	47.5
国などが充実したトレーニング施設を作る	37.5	43.0	40.7
優れた選手の表彰や年金などを充実させる	20.4	9.3	13.9
科学的トレーニングなどの研究の充実と活用を図る	26.3	15.0	19.7
その他	5.3	1.4	3.0
必要なし	9.9	16.4	13.7
わからない	2.6	2.3	2.5
該当者数(人)	152	214	366

(3) 国際大会を我が国で開催することについて

オリンピック競技大会やワールドカップサッカーなどの国際大会を、我が国で開催することについてどう思うか質問したところ、「よいことだ」と答えた者の割合が86.9% (非常によいことだ52.7%、まあよいことだ34.2%)、「よいことではない」と答えた者の割合が1.4%、「わからない」が9.0%であった。この項目は前回の調査項目にはない。(表9-3)

表9-3 国際大会を我が国で開催することについて

項目	男子(%)	女子(%)	全体(%)
非常に良いこと	69.1	41.1	52.7
まあ良いこと	21.7	43.0	34.2
あまり良いことではない	4.6	1.4	2.7
良いことではない	0.7	1.9	1.4
わからない	3.9	12.6	9.0
該当者数(人)	152	214	366

9 スポーツ施設とスポーツ振興についての要望

(1) 公共スポーツ施設についての要望

市町村立体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、望むことがあるか聞いたところ、望むことについて何らかの選択肢を挙げた者の割合が88.8%、「特にない」が8.2%、「わからない」が3.0%であった。望むことの内容を見ると、「身近で利用できるよう、施設数の増加」を挙げた者の割合が最も高く66.7%、以下「利用手続き、料金の支払方法などの簡略化」(46.4%)、「利用時間帯の拡大」(45.1%)などの順となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「身近で利用できるよう、施設数の増加」が男子で54.4%→61.2%、女子で60.6%→70.6%と上昇している。(表10-1)

(2) スポーツ振興についての国や地方公共団体への要望

スポーツをもっと振興させるために、国や県または市町村に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思うかの質問に、力を入れてもらいたいことについて何らかの選択肢を挙げたものの割合が86.7%、「力を入れてもらいたいものはない」と答えた者の割合が1.6%となっている。なお、「わからない」と答えた者の割合が11.7%となっている。

前回の調査結果と比較してみると、

男子で「スポーツ指導者の養成」16.1%→29.6%、女子で「学校体育施設の開放」35.8%→46.3%とそれぞれ高くなっている。(表10-2)

表10-1 公共スポーツ施設についての要望 (複数回答)

要望	男子(%)	女子(%)	全体(%)
身近で利用できるよう、施設数の増加	61.2	70.6	66.7
利用手続き、料金の支払方法などの簡略化	36.2	53.7	46.4
アフタースポーツのための施設の充実	11.2	8.9	9.8
利用時間帯の拡大	38.2	50.0	45.1
指導者の配置	13.8	4.7	8.5
その他	0.7	2.3	1.6
特にない	11.2	6.1	8.2
わからない	4.0	2.3	3.0
該当者数(人)	152	214	366

表10-2 スポーツ振興についての国や地方自治体への要望 (複数回答)

要望	男子(%)	女子(%)	全体(%)
スポーツ指導者の養成	29.6	14.5	20.8
各種スポーツ大会・教室の開催	34.9	29.4	31.7
学校体育施設の開放	32.9	46.3	40.7
スポーツに関する国際交流の進行	21.1	15.4	17.8
野外スポーツ活動施設の整備	24.3	24.8	24.6
スポーツに関する広報活動	9.9	13.6	12.0
野外を除くスポーツ施設の整備	13.8	17.8	16.1
スポーツに関する科学的研究の促進	11.2	5.6	7.9
その他	2.6	1.9	2.2
わからない	11.2	12.2	11.7
力を入れてもらいたいものはない	0.7	2.3	1.6
該当者数(人)	152	214	366

参考文献

総理府広報室「体力・スポーツに関する世論調査」大蔵省印刷局

2000.10

「別府大学短期大学部紀要」第20号 学生の体力・スポーツに関する意識

2001.3

—参考資料—

学生の体力・スポーツに関する意識調査
(1999年調査)

調査対象

項目	男子(人)	女子(人)	全体(人)
大 学	122	80	202
短期大学部	27	250	277
合 計	149	330	479
割 合	31.1%	68.9%	100.0%

現在の健康状態

状 態	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに健康である	27.5	17.6	20.7
まあ健康である	55.0	60.3	58.7
あまり健康でない	8.1	10.0	9.4
わからない	9.4	12.1	11.2
該当者数(人)	149	330	479

体力の自信の有無

自信の有無	男子(%)	女子(%)	全体(%)
体力に自信がある	20.1	8.8	12.5
体力は普通である	51.7	52.4	52.2
体力に不安がある	20.1	28.8	26.1
わからない	8.1	10.1	9.4
該当者数(人)	149	330	479

肉体的な疲労を感じるか

感じる程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに感じる	10.1	10.9	10.6
ある程度感じる	45.0	54.2	51.4
あまり感じない	30.2	20.3	23.4
ほとんど(全く)感じない	6.0	2.1	3.3
わからない	9.4	12.4	11.5
該当者数(人)	149	330	479

精神的なストレスを感じるか

感じる程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに感じる	17.4	20.3	19.4
ある程度感じる	37.0	49.1	45.3
あまり感じない	23.5	19.7	20.9
ほとんど(全く)感じない	8.7	2.7	4.6
わからない	13.4	8.2	9.8
該当者数(人)	149	330	479

運動能力の低下を感じるか

感じる程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに感じる	30.2	31.8	31.3
ある程度感じる	45.6	45.4	45.5
あまり感じない	10.1	11.2	10.9
ほとんど(全く)感じない	2.7	0.6	1.3
わからない	11.4	10.9	11.1
該当者数(人)	149	330	479

運動不足を感じるか

感じる程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
大いに感じる	41.6	55.5	51.1
ある程度感じる	34.9	31.8	32.8
あまり感じない	14.1	8.5	10.2
ほとんど(全く)感じない	6.7	1.8	3.3
わからない	2.7	2.4	2.5
該当者数(人)	149	330	479

健康や体力に注意をはらっているか

注意の程度	男子(%)	女子(%)	全体(%)
常に注意をはらっている	17.4	7.0	10.2
時々注意をはらっている	47.0	55.2	52.6
あまり注意をはらっていない	35.6	37.9	37.7
該当者数(人)	149	330	479

健康や体力の維持増進のため心掛けていること (複数回答)

心掛けていること	男子(%)	女子(%)	全体(%)
食生活に気をつける	29.2	50.7	43.9
睡眠や休養をよくとる	56.2	82.9	74.4
規則正しい生活をする	21.9	26.8	25.2
運動やスポーツをする	54.2	26.8	35.5
酒やタバコを控える	27.1	17.6	20.6
特に心掛けていることはない	32.3	28.3	29.6
その他	6.3	4.4	5.0
該当者数(人)	149	330	479

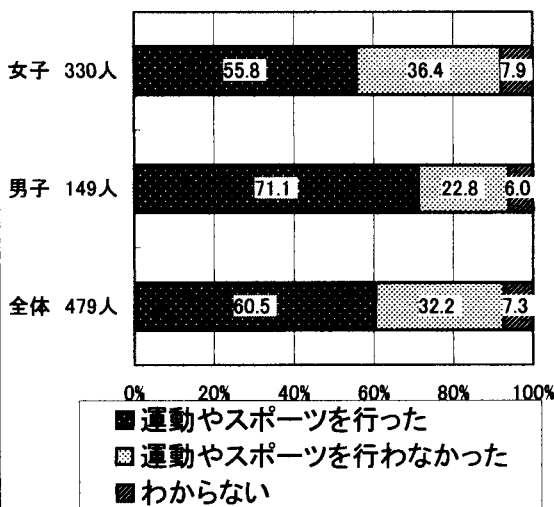
この1年間に運動・スポーツを行った日数

行った日数	男子(%)	女子(%)
週に3日以上(年151日以上)	16.8	24.5
週に1~2日(年51~15日)	19.0	27.4
月に1~3日(年12~50日)	27.7	33.0
3ヶ月に1~2日(年4~11日)	25.0	14.2
年に1~3日	11.4	0.9
該当者数(人)	106	184

運動・スポーツを行った理由 (複数回答)

理由	男子(%)	女子(%)	全体(%)
楽しみ・気晴らしとして	55.7	38.6	44.8
健康・体力づくりのため	27.4	19.6	22.4
友人・仲間との交流として	34.0	45.1	41.0
運動不足を感じるから	19.8	22.3	21.8
家族のふれあいとして	0.9	3.8	2.8
美容や肥満解消のため	11.3	4.9	7.2
精神の修養や訓練のため	9.4	7.0	7.9
自己の記録や能力を向上させるため	6.6	17.9	13.8
その他	3.8	18.5	13.1
該当者数(人)	106	184	290

この1年間に行った運動・スポーツの有無



運動・スポーツを行わなかった理由 (複数回答)

理由	男子(%)	女子(%)	全体(%)
学業やアルバイトが忙しくて時間がいないから	11.8	25.8	22.7
仲間がいないから	2.9	3.3	13.6
運動やスポーツは好きでないから	14.7	13.3	13.6
機会がなかったから	47.1	14.2	21.4
場所や施設がないから	5.9	9.2	8.4
お金がかかるから	0.0	2.5	1.9
体が弱いから	0.0	1.7	1.3
その他	0.0	2.5	1.9
特に理由はない	38.2	28.3	30.5
該当者数(人)	34	120	154

この1年間に行った運動・スポーツの種目 (複数回答)

	男子 (%)	女子 (%)	全体 (%)
サッカー	37.7	ボウリング	29.3
野球	30.2	バレーボール	27.7
バレーボール	26.4	バドミントン	26.1
バスケットボール	22.6	水泳	21.7
ボウリング	20.8	ウォーキング	12.0
ソフトボール	12.3	サイクリング	10.9
バドミントン	8.5	テニス	8.7
水泳	8.5	ソフトボール	8.2
サイクリング	5.7	バスケットボール	6.5
フィッシング	5.7	卓球	6.0
該当者数(人)	106		184

今後行ってみたい運動・スポーツ種目(複数回答)
上位10種目

男子 (%)		女子 (%)	
スキー	22.8	スキー	26.4
サッカー	21.5	水泳	23.0
野球	14.1	バドミントン	18.8
バスケットボール	11.4	テニス	18.5
ゴルフ	8.7	ウォーキング	18.2
バレーボール	8.1	バレーボール	18.2
ボウリング	6.7	ボウリング	11.8
テニス	6.7	バスケットボール	9.7
バドミントン	6.7	スノーボード	6.7
フィッシング	6.0	体操	5.5
該当者数(人)	149		330

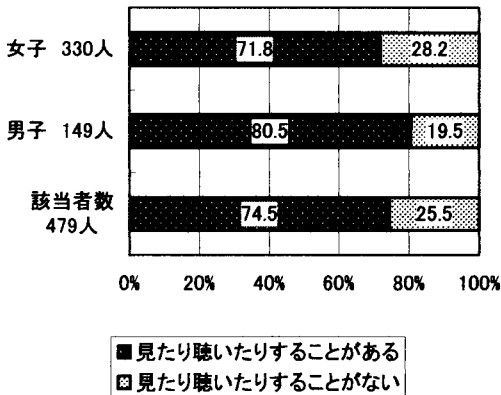
今後ボランティア活動を行いたいか

項目	男子(%)	女子(%)	全体(%)
ぜひ行いたい	12.1	5.8	7.7
できれば行いたい	29.5	30.9	30.5
あまり行いたいとは思わない	22.8	25.2	24.4
全然行いたいとは思わない	8.1	6.7	7.1
わからない	27.5	31.5	30.3
該当者数(人)	149	330	479

学校の体育施設を利用しなかった理由(複数回答)

理由	男子(%)	女子(%)	全体(%)
運動やスポーツに関心がないから	4.4	12.8	10.2
時間帯が限られており、利用したいときにできないから	13.3	11.1	11.7
利用できることを知らなかった	15.6	19.7	18.5
個人単位では利用許可にならないから	2.2	2.6	2.5
利用手続きが面倒だから	11.1	7.7	8.6
近くの体育施設は一般に開放していないから	6.7	6.0	6.2
施設、設備が良くないから	0.0	1.7	1.2
その他	8.9	5.1	6.2
特にない	37.8	41.0	40.1
該当者数(人)	45	117	162

スポーツの視聴、観戦の有無



スポーツに関するボランティア活動の経験

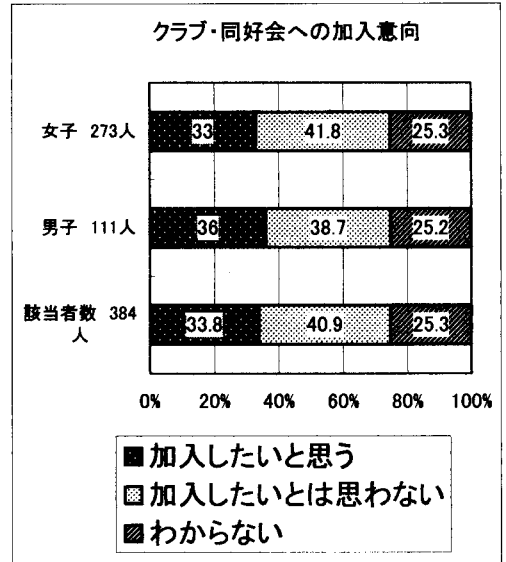
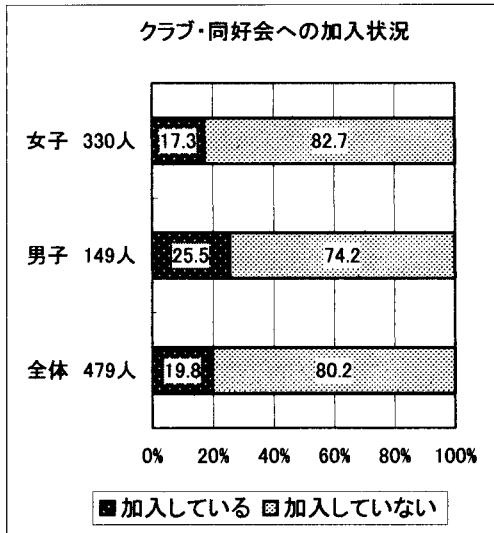
経験の有無	男子(%)	女子(%)	全体(%)
行った	18.1	11.5	13.6
行わなかった	81.9	88.5	86.4
該当者数(人)	149	330	479

参加したいスポーツ行事(複数回答)

行事	男子(%)	女子(%)	全体(%)
レクリエーション的行事(運動会など)	22.7	20.1	21.9
トレーニング的行事(ジョギング大会など)	8.8	10.1	9.2
体力テスト・スポーツテスト	3.3	12.8	6.3
スポーツ教室	8.2	3.4	6.7
競技会的行事(スポーツ大会)	20.9	40.9	27.1
その他の行事	1.8	1.3	1.7
わからない	16.4	9.4	14.2
参加したいと思わない	23.3	10.7	19.4
該当者数(人)	149	330	479

どのようなボランティア活動をしたか(複数回答)

ボランティアの内容	男子(%)	女子(%)
スポーツの指導	40.8	18.4
地域のスポーツ行事など運営の世話	33.3	36.8
全国スポーツイベントのボランティア	3.7	13.2
その他	29.6	36.8
該当者数(人)	27	38



クラブ・同好会でやっている運動・スポーツの種目 上位10種目

	男子 (%)	女子 (%)
サッカー	18.4	バドミントン 21.6
バレーボール	10.5	剣道 11.8
野球	10.5	バレーボール 9.8
バドミントン	7.9	弓道 7.8
柔道	5.3	バスケットボール 7.8
剣道	5.3	登山 5.9
少林寺拳法	5.3	柔道 5.9
陸上競技	5.3	少林寺拳法 5.9
卓球	5.3	テニス 3.9
アーチェリー	5.3	空手 3.9
該当者数(人)	28	57

公共スポーツ施設についての要望 (複数回答)

要 望	男子 (%)	女子 (%)	全体 (%)
身近で利用できるよう施設数の増加	54.4	60.6	58.7
指導者の配置	7.4	4.5	5.4
利用時間帯の拡大	36.9	41.2	39.9
利用手続き、料金の支払方法などの簡略化	34.9	35.8	35.5
アフタースポーツのための施設の充実	10.1	10.0	10.0
その他	2.0	4.5	3.8
特にない	8.7	10.3	9.8
わからない	3.4	5.2	4.6
該当者数(人)	136	296	432

クラブ・同好会に参加した動機 (複数回答)

動 機	男子 (%)	女子 (%)	全体 (%)
健康・体力づくりのため	31.6	26.3	28.4
好きだから	63.2	63.2	63.2
親睦のため(仲間ができるから)	10.5	29.8	22.1
継続してできるから	5.3	12.3	9.5
指導者がいるから	2.6	3.5	3.2
技術が習得できるから	15.8	14.0	14.7
特にない	7.9	0.0	4.0
該当者数(人)	38	57	95

スポーツ振興についての国や地方自治体への要望
(複数回答)

要 望	男子(%)	女子(%)	全体(%)
スポーツ指導者の養成	16.1	10.3	12.1
学校体育施設の開放	35.6	35.8	35.7
各種スポーツ大会・教室の開催	34.2	27.0	29.2
野外スポーツ活動施設の整備	22.8	15.1	17.5
スポーツに関する国際交流の進行	16.1	8.8	11.1
スポーツに関する広報活動	12.1	11.2	11.5
野外を除くスポーツ施設の整備	14.1	22.4	19.8
スポーツに関する科学的研究の促進	8.1	1.5	3.5
そ の 他	3.4	1.8	2.3
力を入れてもらいたくないものはない	2.0	3.0	2.7
わ か ら な い	8.1	16.1	13.6
該 当 者 数 (人)	149	330	479